

第1部 ふるさと・きずな維持・再生支援事業 成果報告団体について

① NPO 法人中之作プロジェクト

古民家・港湾・身近な自然など既に地域にある資源を活用し、豊かな子育て環境の整備・発信する活動紹介。中之作地域が若い世代に選ばれる移住候補地になることを目指しています。

② 一般社団法人オープンデータラボ

NPO 等の解散・活動休止による復興支援ノウハウの消失が懸念されるなか、中長期資金調達計画作成のパイロット伴走支援・AI を活用した助成金等情報収集システム構築の取組み紹介。

③ 一般社団法人 Bridge for Fukushima

複数の県内農業高校等にて 6 次化商品開発のアクティブラーニング授業を提供し学生達に伴走支援した取組み紹介。県産品の魅力発信以上に、人材の育成を狙いとっています。

④ 富岡町 3・11 を語る会

帰還者・移住者など多様化した町民同士の繋がりづくりを目指し、地域の歴史や文化も題材にした音読教室等の開催・自主企画の被災地ツアーや絡めた演劇キャンプなどの取組み紹介。非日常ではなく日常の延長・町民自身による活動が継続していくことを目指しています。

第2部 協働推進トークセッション事例発表について

1) 特定非営利活動法人小さな拠点おおか

「つながる・集まる小さな拠点づくり」いわき市川前町の小さな拠点整備事業の紹介。住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らすことを目指し、「拠点」となる古民家のリニューアル整備、地域住民×専門職、コミュニティカフェの取組み紹介します。

2) 特定非営利活動法人はなのころ

「障がい者の夢を咲かせる」活動紹介。企業と連携して、障がい者アート作品の展示の場を提供している活動を紹介します。障がい者アート作品の発表の場を提供する活動という従来の制度にとらわれない NPO 活動です。当日は、本会会場において、障がい者のアート作品やアート作品とのコラボグッズを展示する予定です。

3) キヤノンマーケティングジャパン株式会社

東北復興・創生推進室の活動紹介。浪江町、双葉町の自治体等と連携し、時間とともに変化する地域の課題をとらえ、企業としてできることを考えながら長期的な支援活動の取組み。みんなの笑顔プロジェクト、浪江町で実際された「事業向け 写真撮影講座」等を紹介します。